

参加呼びかけ:

反戦と反グローバリゼーション運動ベイルート国際会議

2004年9月17～19日、レバノン・ベイルート

6月30日のまやかしの主権「移譲」に続いて、米国の軍事的、経済的、政治的なイラク占領は継続し、それとともに同地域の計画的な不安定化戦略も継続する。同時にブッシュ政権は、イスラエルのシャロン政権にパレスチナ民衆を殺戮し、隔離壁を建設してパレスチナ民衆を孤立化させて支配する政策を自由に追求する権限を与えた。これは、パレスチナの危機を軍事力と服従によって「解決」しようとする米国とイスラエルの戦略の一部である。

しかしながら、抵抗は継続している。イラク人とパレスチナ人は占領者に対してひるむことを拒否し、世界中で何百万人も市民が街頭に出て、イラクとパレスチナの占領の終了、ならびに帝国主義者の戦争の終了を呼びかけている。同時に、私たちは、宗教、民族、人種および部族間の対立を扇動して、自らの権益を拡大し、それによって、人々の困窮を悪化させ、人々の間に暴力と憎しみを増殖させている勢力を糾弾する。

国際会議の提案

世界的な反戦運動は長年、最も勇気付けられるグローバルな運動であった。戦争挑発人に揺さぶりをかけ、世界の世論から支持を集めてきた。今日、その反戦運動は新しい状況と新しい挑戦に直面している。そうした理由から、私たちは、特定の2つの目標を持って、戦争と経済のグローバル化に反対する運動の国際会議をレバノン・ベイルートで開催することを提案する。1つは、今後数年間における共通の展望、戦略、およびキャンペーンについて討論し、作り出すことによって、運動を拡大および強化することであり、もう1つは、アラブ世界の反戦および反グローバリゼーション勢力との既存の連携を深めるとともに、かつ新しい連携も作り出すことである。とりわけ、会議の開催場所をレバノンに決めたのは、この後者の理由による。

代表派遣の呼びかけ

私たちは平和、正義および自由を求めて闘うすべての運動体、ネットワーク、連合体にベイルート会議に代表を派遣し、討論に参加して、戦争と経済のグローバル化に反対するより強固な世界的な運動を構築する一翼を担うよう呼びかける。

賛同団体

2004年7月4日現在